

# 親子でえほんをよむ会



3歳～6歳

テーマ： 怖い？怖くない？



「ねーねー、おばけて怖い？」



## ①『もいのおばけ』

かたやま けん/作・絵  
福音館書店

弟とかけっこをして先に森についたぼく。森の中は暗くてうすきみわるく、ぼくはだんだん怖くなってきました。



「もし、おばけが近くにいたらどうする？」



## ②『おばけでんしゃ』

内田 麟太郎/文  
西村 繁男/絵  
童心社

お化け電車が出発します。途中、くらやみ駅やさむざむ駅に止まります。終点は人間駅です。



「もしこんなおばけがいたら、ともだちになりたくない？」



## ③『おばけのバーバパパ』

アネット・チゾン タラス・テイラー/作  
山下 明生/訳  
偕成社

バーバパパは体が大きくなりすぎたため、仲良くなった友だちとわかれ、動物園で暮らすことに。でもその動物園からも追い出されてしまいます。

たとえばこんなとき・・・  
ちょこっとアドバイス

なぜ、子どもは  
怖い話が好きなの？

怖いと言いながら、なぜ子どもは怖い話を聞きたがるのでしょうか。それは家という安心する場所で、安心できる親から読み聞かせをしてもらうからです。「怖いー！」と言いながらお母さんに抱き着いたり、お父さんの膝に乗ったりすることで、家族のつながりを実感できるし、幸せな記憶として残っていきます。



島根県立図書館